

【計画】0-2 農林水産分野における気候変動影響に関する調査

■ 調査目的

- 気候変動に対して脆弱な作物である果樹を対象に、気候の極端化等による影響の調査、及び適応策の可能性について検討する(リスクに関する調査)。
- 特産化が期待される新品種の導入可能性など、農業分野における気候変動がもたらす機会の活用について検討する(チャンスに関する調査)。
- 適応ビジネスの拡大を見据えて、先進的な取組を実施している民間事業者の調査を行う。



みかんの「日焼け果」

高温による水分欠乏と強い日射により果皮組織のバランスが崩れることにより発生

出典：農林水産省HP

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/s_ondanka/pdf/data4-4.pdf

■ 調査計画

年度	主な調査項目
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> 九州・沖縄地方を対象として、ニーズのある果樹の調査、適応に関する現状と課題の調査 ニーズのある果樹品目に関する影響評価手法・適応策の整理 適応ビジネスに関する民間事業者へのヒアリング等
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> 九州・沖縄地方以外の地域を対象とした調査
R元年度	<ul style="list-style-type: none"> 上記調査に関する追加調査 調査のとりまとめ

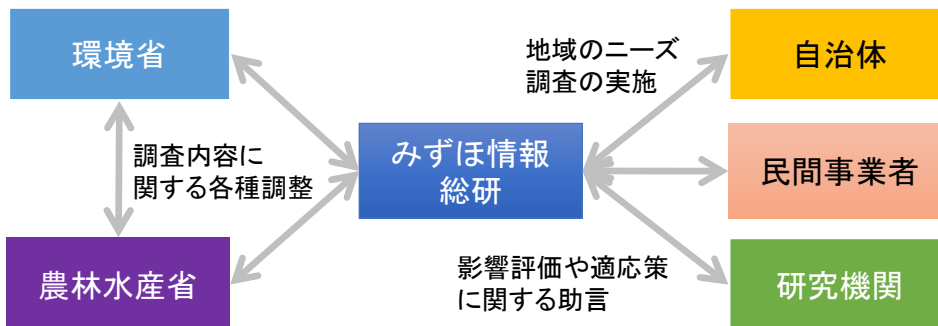


ライチの栽培拡大

宮崎県では「温暖化を逆手にとった新産地の開拓」として亜熱帯果樹の栽培拡大を目指している

出典：農林水産省「九州農業と自然災害」

■ 実施体制



アドバイザー	助言領域
杉浦 俊彦 氏 (農研機構果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 園地環境ユニット ユニット長)	落葉果樹及び常緑果樹 温暖化適応策
前田 隆昭 氏 (南九州大学環境園芸学部 教授)	熱帯・亜熱帯果樹